

第57回 “社会を明るくする運動” 強調月間 7月1日～7月31日

○重点目標

「犯罪・非行の防止と更生の援助のため、地域住民の理解と参加を求める」

○統一標語

「防ごう犯罪と非行 助けよう立ち直り」

“社会を明るくする運動”はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

期間中は、広報車による市内巡回啓発、街頭啓発、「愛の善意」募金運動等の活動を行っています。

■実施団体 “社会を明るくする運動” 五條市実施委員会

■問合せ先 社会福祉課 ☎（内線299）

保護司に
よる
電話相談

更生保護「ひまわりテレフォン相談」

犯罪や非行のない明るい町を築くため、犯罪や非行にいたった人々の社会復帰を支援し、一人で悩む人や、家族を援助するための電話相談を行っています。

どんな小さな事でも結構です。一人で悩まないで、一度あなたもお電話ください。

■ひまわりテレフォン相談 ☎0742・20・6000

月曜日～土曜日（祝祭日を除く）午後1時～4時

世界平和と核兵器廃絶を祈願 —市内13か寺から「平和の鐘」—

一瞬にして多くの生命を奪い、傷つけ、二つの都市を破壊した昭和20年8月6日、9日の広島、長崎への人類で最初の原爆投下から62年が経過し、戦争の悲惨さを知らない世代が多くなっています。

世界で唯一の被爆国として、私たちは、「核兵器の廃絶」と「戦争放棄」について声を大にして叫び、世界平和の先導者として活動しなければなりません。

広島、長崎の悲劇以来、今日まで核兵器は使用されていませんが、今後も使用されないとは限りません。特に核兵器を新たに開発しようとしている国や、核の脅威を利用して自国の利益を守ろうとしている国など、世界中にはいまだに核の脅威が存在しています。

五條市では、昭和61年9月に核兵器廃絶平和都市を宣言し、「核兵器廃絶、平和宣言都市」の啓発塔を市役所前、中央公民館前、上野町の3か所に設置するとともに、「平和の鐘」をついて恒久平和を祈願しています。

今年も広島に原爆が投下された8月6日（月）午前8時15分、長崎に原爆が投下された8月9日（木）午前11時2分、そして、五條市が空襲を受けた8月8日（水）午前8時30分から1分間、原爆死没者の冥福と世界恒久平和を祈願して、「平和の鐘」が市内の13か寺から鳴り響きます。

市民のみなさん、この趣旨をご理解のうえ、当日は1分間の黙とうをお願いします。

■問合せ先 庶務課 ☎（内線206）